

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年9月1日

JAMA:

鼻腔スワブによる感染診断：

小児の自己採取とヘルスケアワーカー採取の一致度はほぼ100%

## 【松崎雑感】

JAMAの論文です。新型コロナのPCR検査の検体を採取する場合、鼻から咽喉までスティックを入れず、鼻の入り口の粘膜をこするだけでも結構正確な感染診断ができます。この検体採取を子供にやってもらっても、医療スタッフがやるのと100%近く同じデータが出るという報告です。調査対象は4歳から14歳の子どもさんでした。

幼稚園児や小学校低学年には、やり方を教えて自分でやってもらうという手段が良いかもしれません。

## 鼻腔スワブによる感染診断：小児の自己採取とヘルスケアワーカー採取の一致度はほぼ100%

Waggoner JJ, Vos MB, Tyburski EA, et al. **Concordance of SARS-CoV-2 Results in Self-collected Nasal Swabs vs Swabs Collected by Health Care Workers in Children and Adolescents** [published online ahead of print, 2022 Aug 26]. **JAMA**. 2022;10.1001/jama.2022.14877. doi:10.1001/jama.2022.14877

背景：新型コロナに感染しているかどうかを判定する承認された検査法は増えているが、14才以下の小児の鼻腔自己採取スワブは承認されていない。これはヘルスケアワーカーが行った場合と比較した感度が不明なためである。

目的：学齢期の小児の自己採取鼻腔スワブの陽性率を、ヘルスケアワーカーが採取した鼻腔スワブの陽性率と比較する。

方法：症状のある4～14歳児197名を対象。小児に鼻腔スワブ採取法のビデオを見せ（次スライド）、採取手順のパンフレットを渡した。まず小児が自己採取し、そののちにヘルスケアワーカーが採取した。新型コロナ陽性率とPCRのCt値を、自己採取とヘルスケアワーカー採取検体間で比較した。

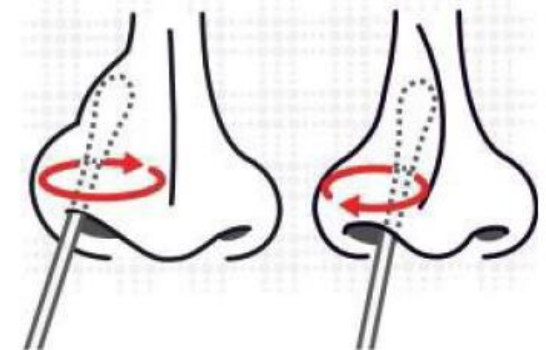
けんさまえに てをしっかり  
あらいましょう



キャップをとって けんさスティックを  
つかんでください。スティックのさきに  
さわらないように きをつけましょう。



スティックを はなのあなにいれて  
やさしく こすってください。



スティックを いれものにも  
どして ふたをしてください



## 結果

対象小児の55.7%が男性、平均年齢9才。陽性者87名と、陰性者105名で自己採取とヘルスケアワーカー採取結果が一致していた。

自己採取マイナス、ヘルスケアワーカー採取プラスが1名、その逆が1名。1名ではヘルスケアワーカー採取検体不良。ヘルスケアワーカー採取で陽性だった小児の97.8%で小児自己採取検体陽性。

ヘルスケアワーカー採取で陰性だった検体の98.1%で小児自己採取検体陰性だった。陽性検体のCt値にも両群の差は見られなかった。

## 結論

簡単な視聴覚資料による指導を受けた4～14才の小児が自己採取した鼻腔スワブは、新型コロナ診断上、ヘルスケアワーカー採取鼻腔スワブと高い一致度を示した。